

59-48



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 23日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 愛知県刈谷市相生町三丁目3番地

氏名 アイシン開発株式会社

取締役社長 中村 武司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0566-27-8700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	愛知県刈谷市相生町三丁目3番地
事業場の所在地	アイシン開発株式会社(豊田各現場)
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

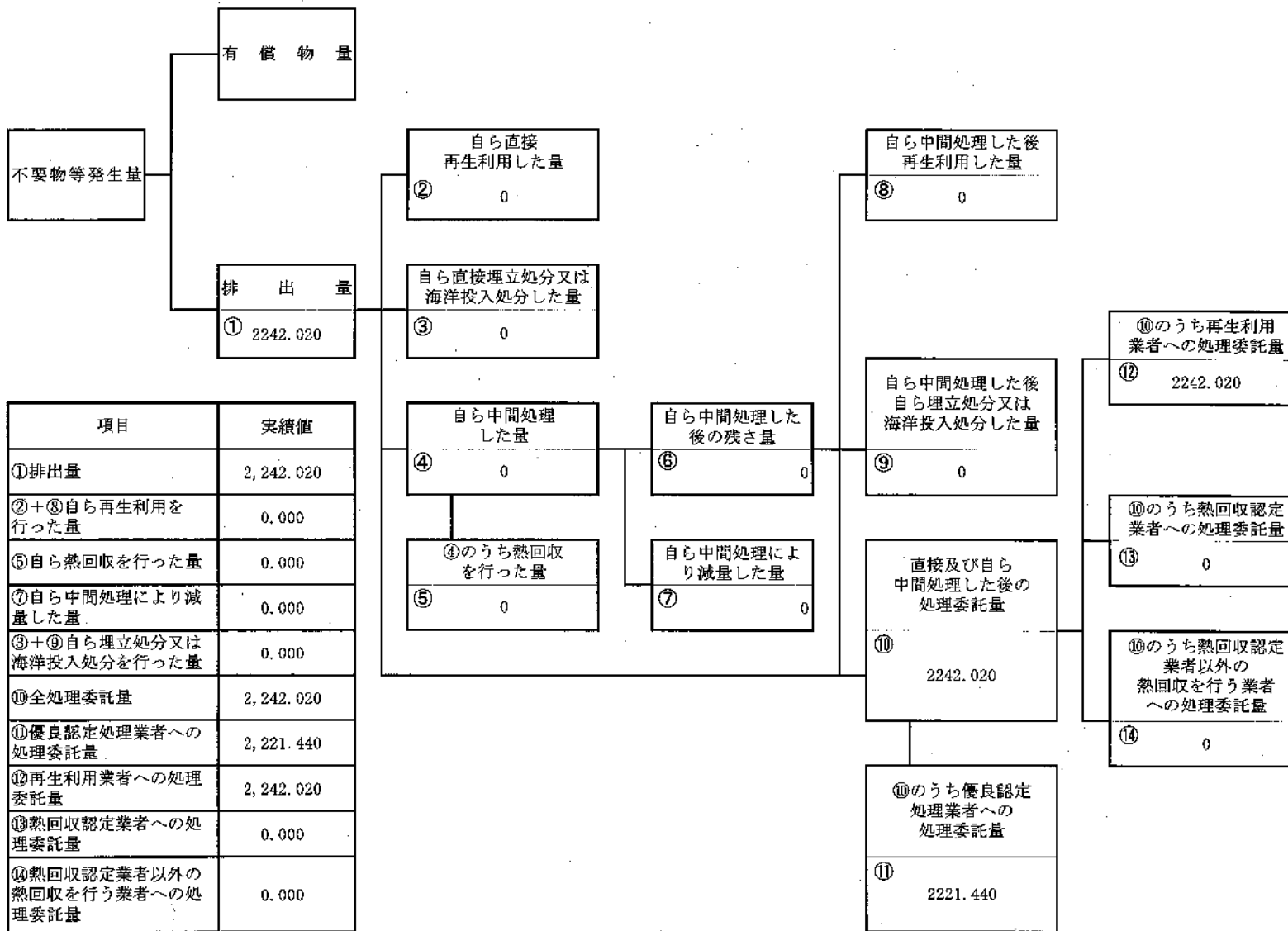
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1905.959 t	全処理委託量	1905.959 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1719.945 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

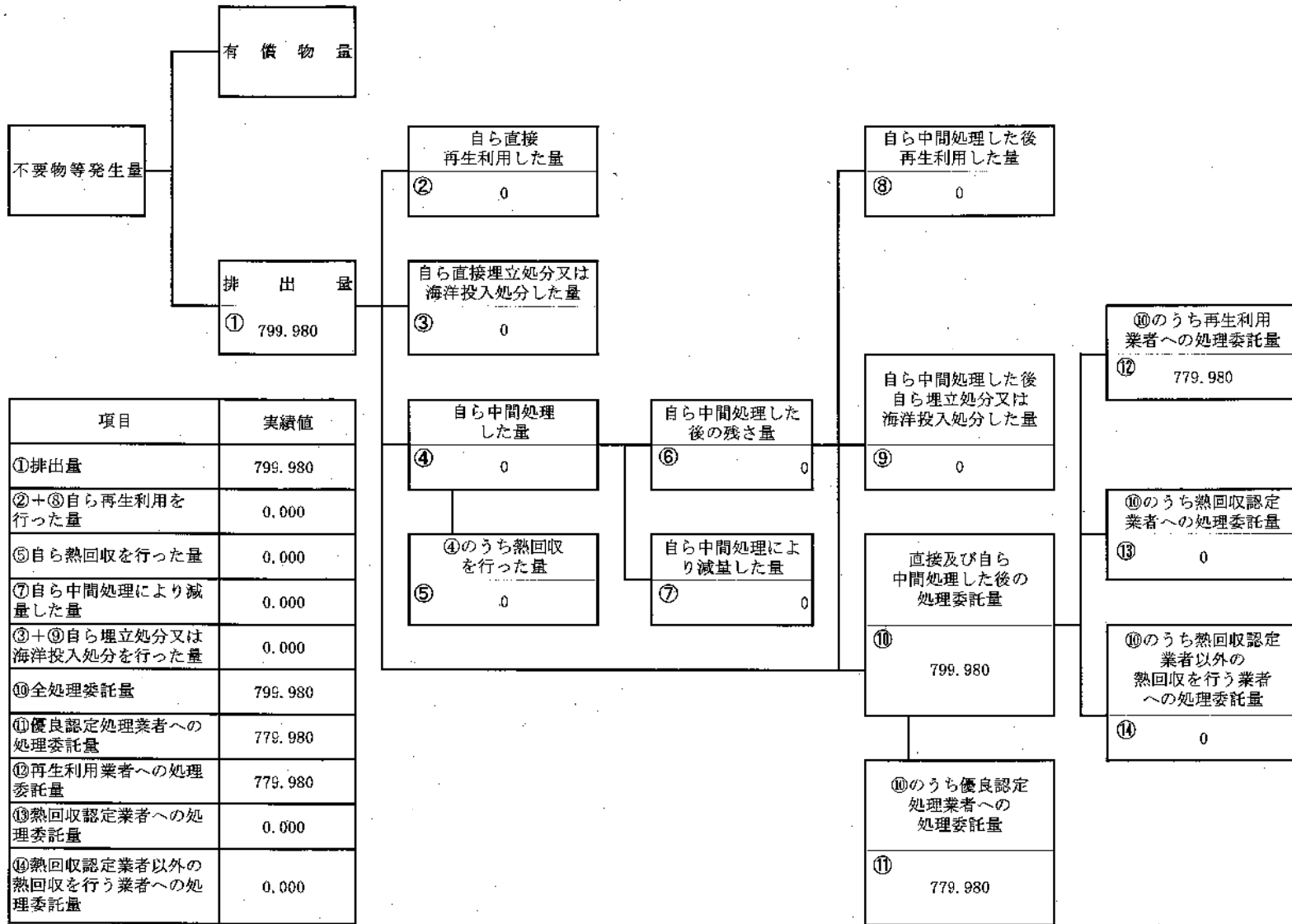
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンガラ)



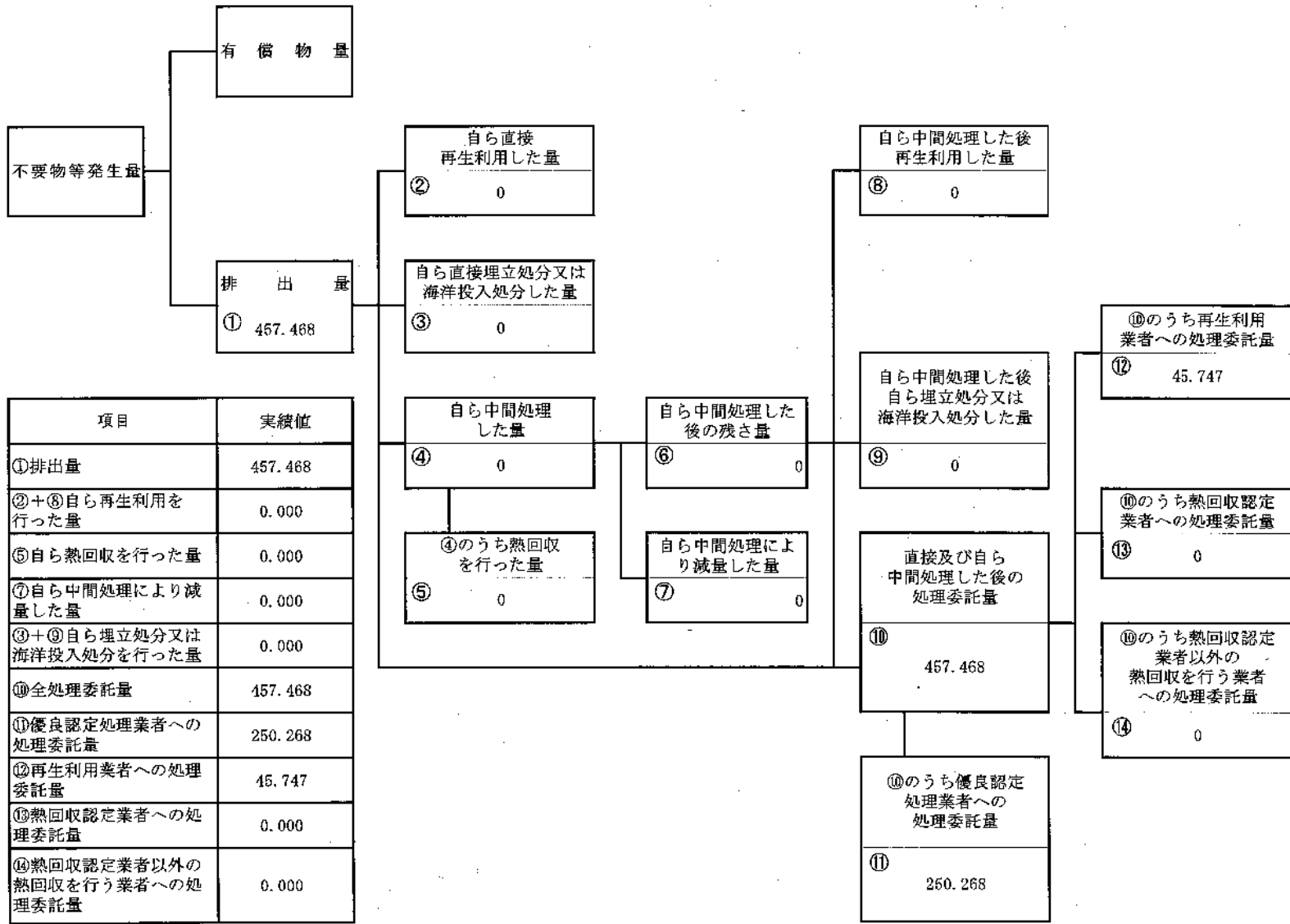
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：アスガラ)

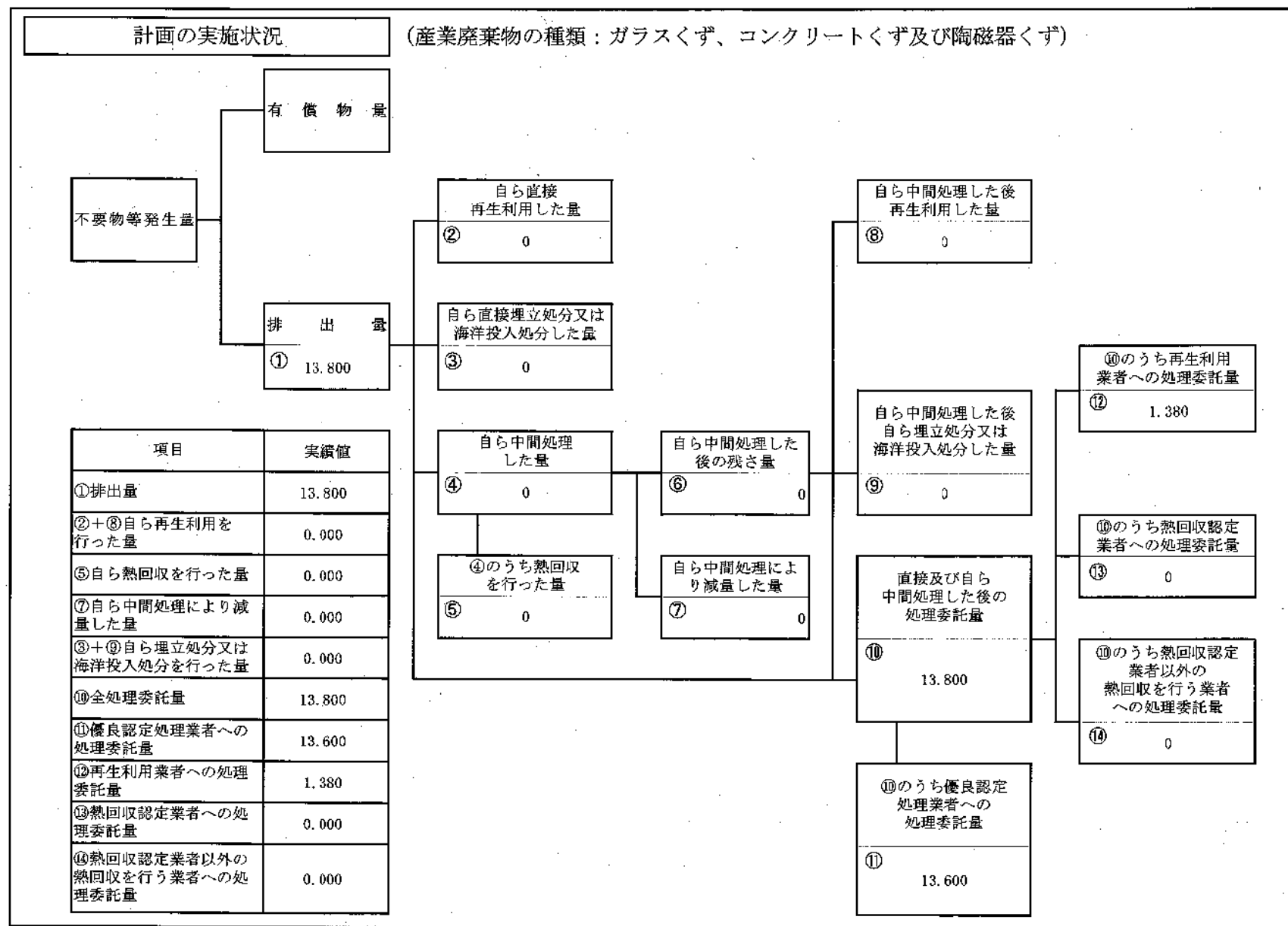


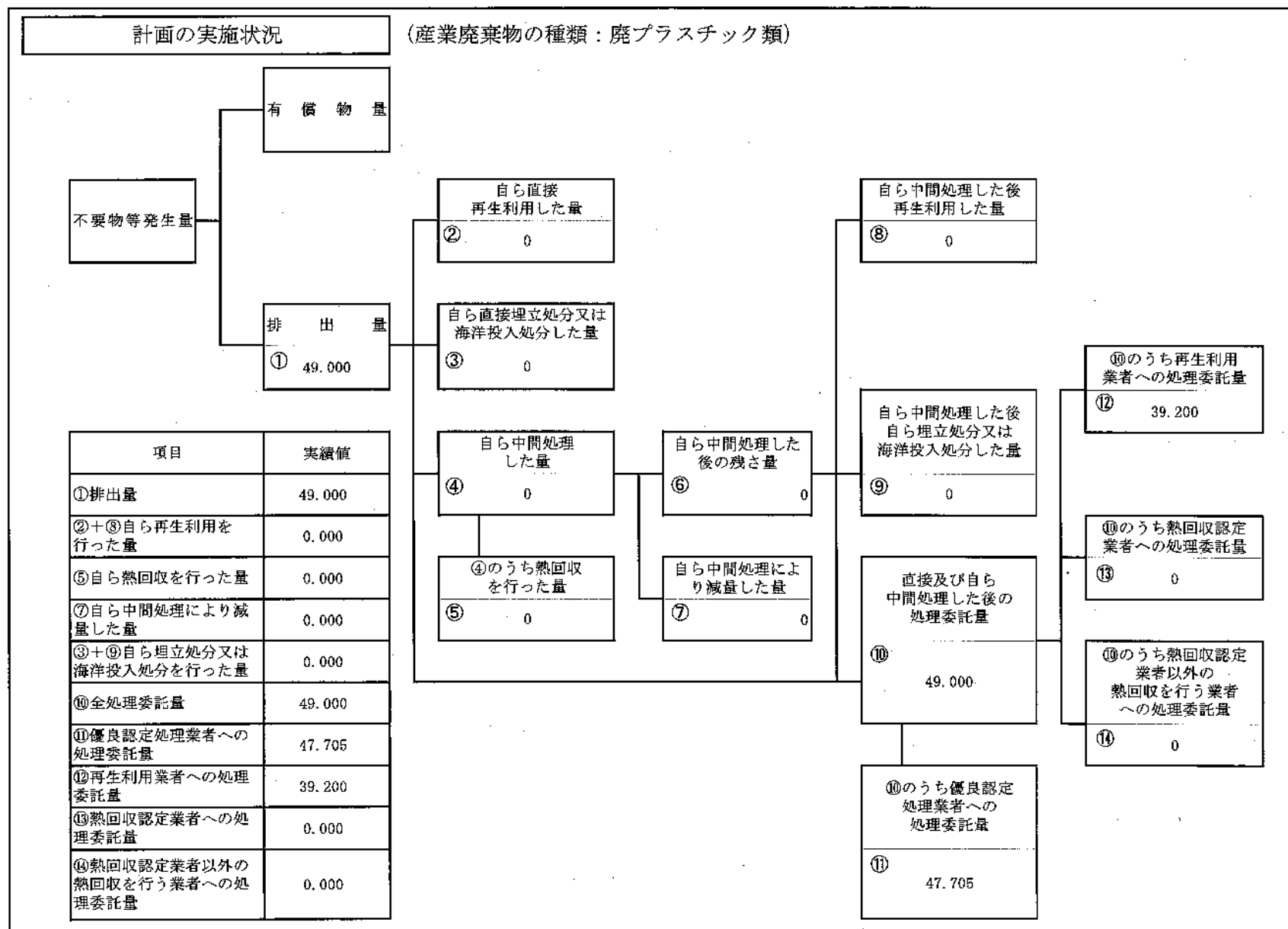
計画の実施状況

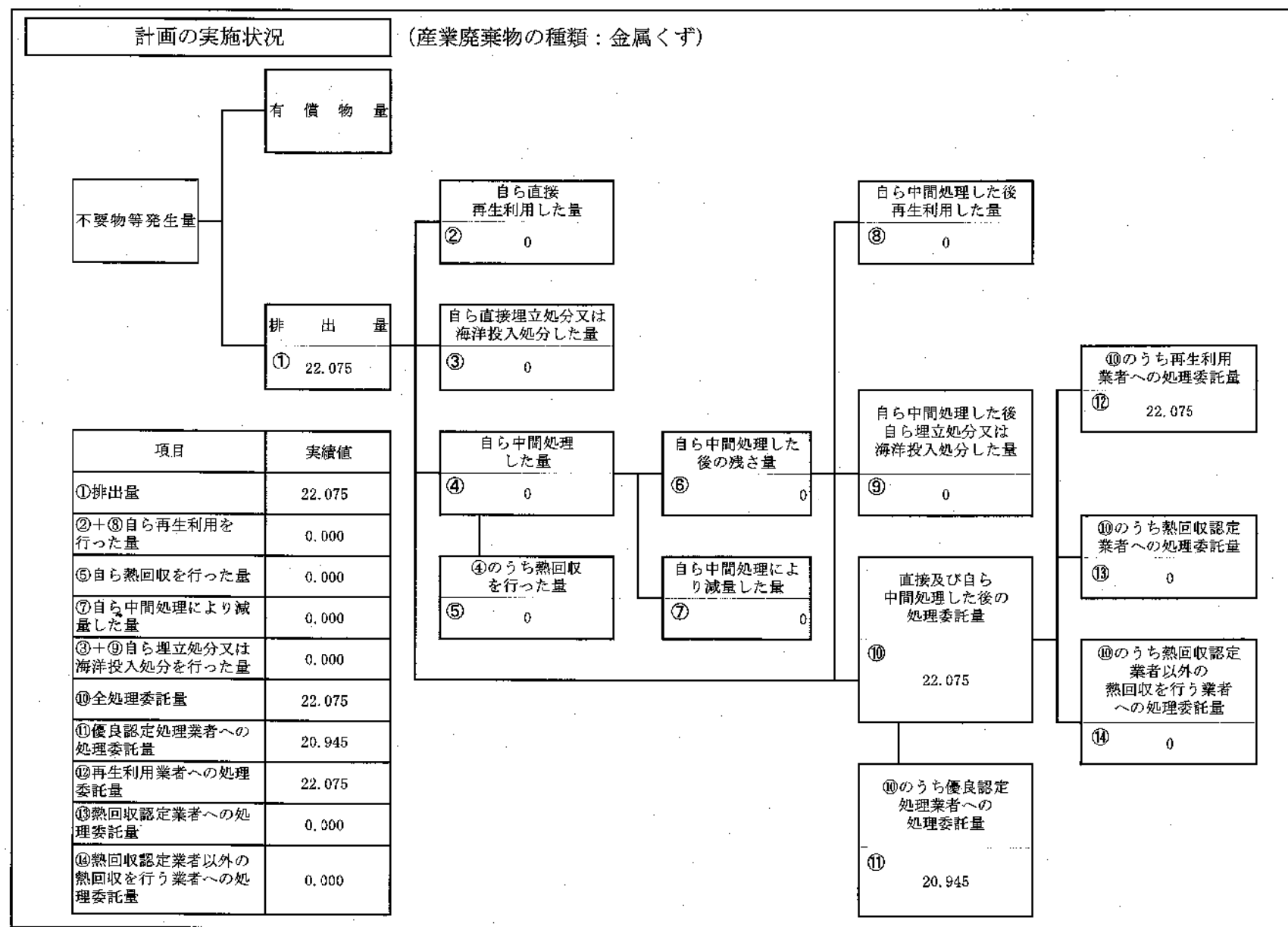
(産業廃棄物の種類：がれき類)



項目	実績値
①排出量	457.468
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	457.468
⑪優良認定処理業者への処理委託量	250.268
⑫再生利用業者への処理委託量	45.747
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

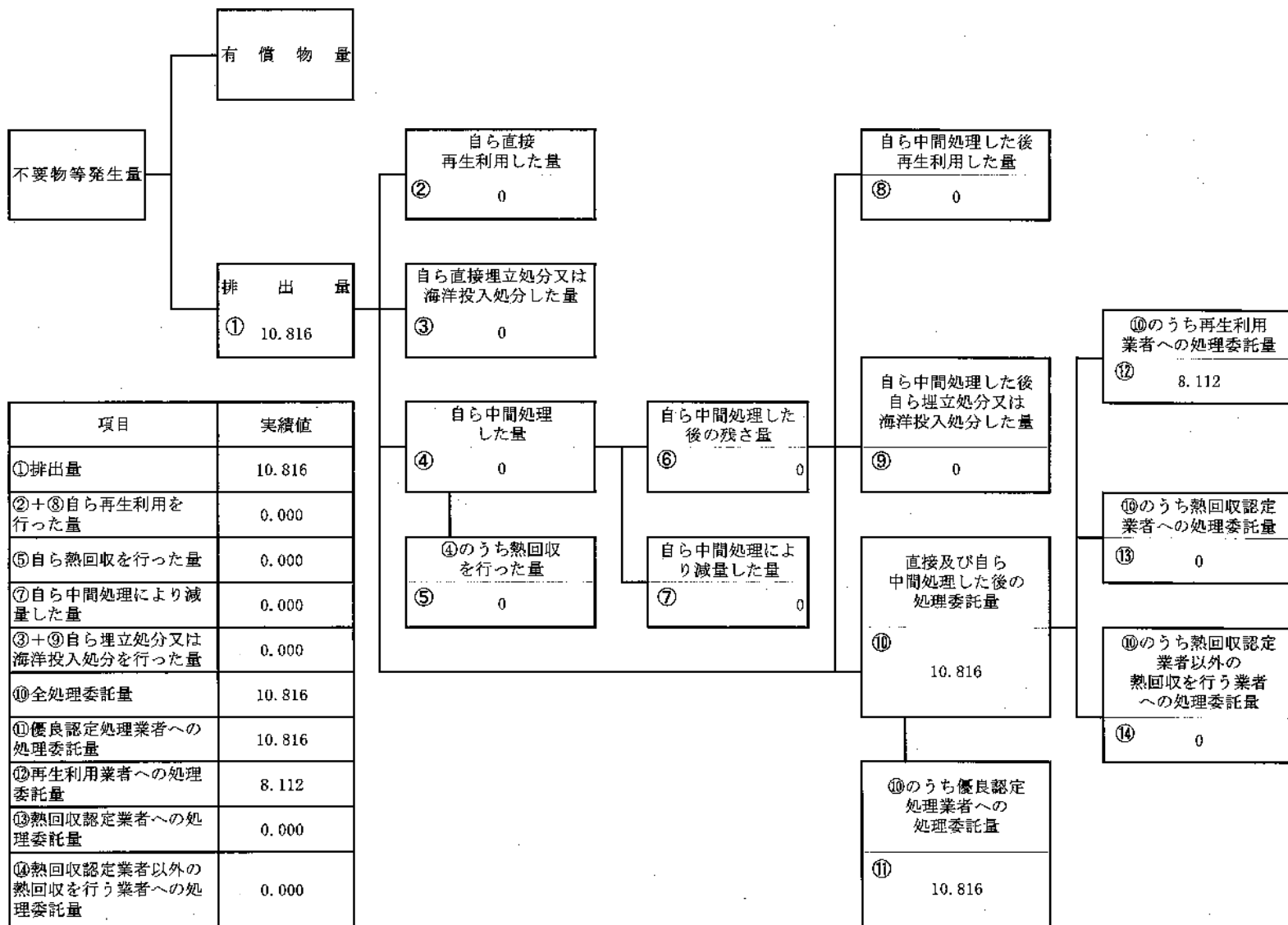


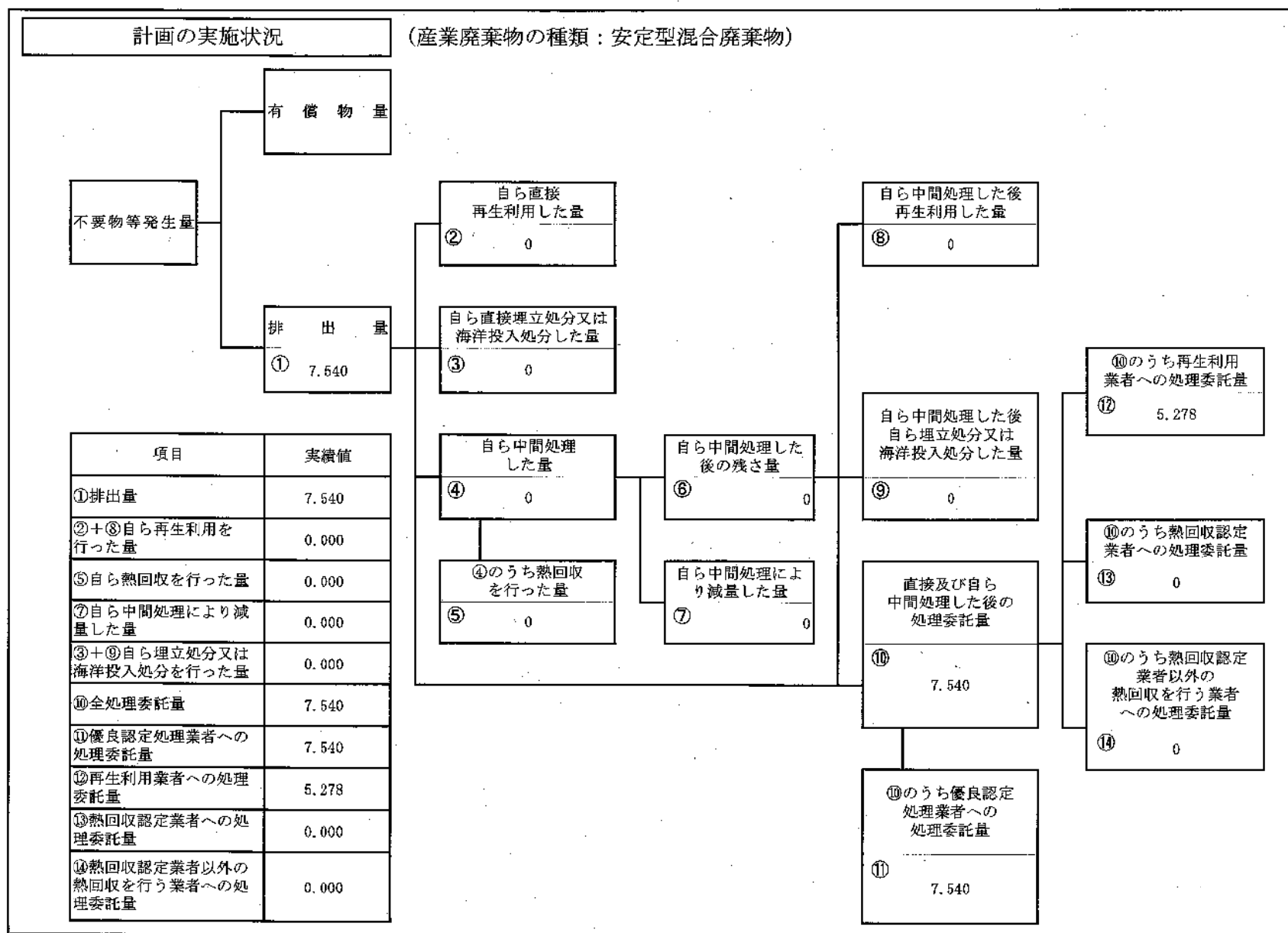


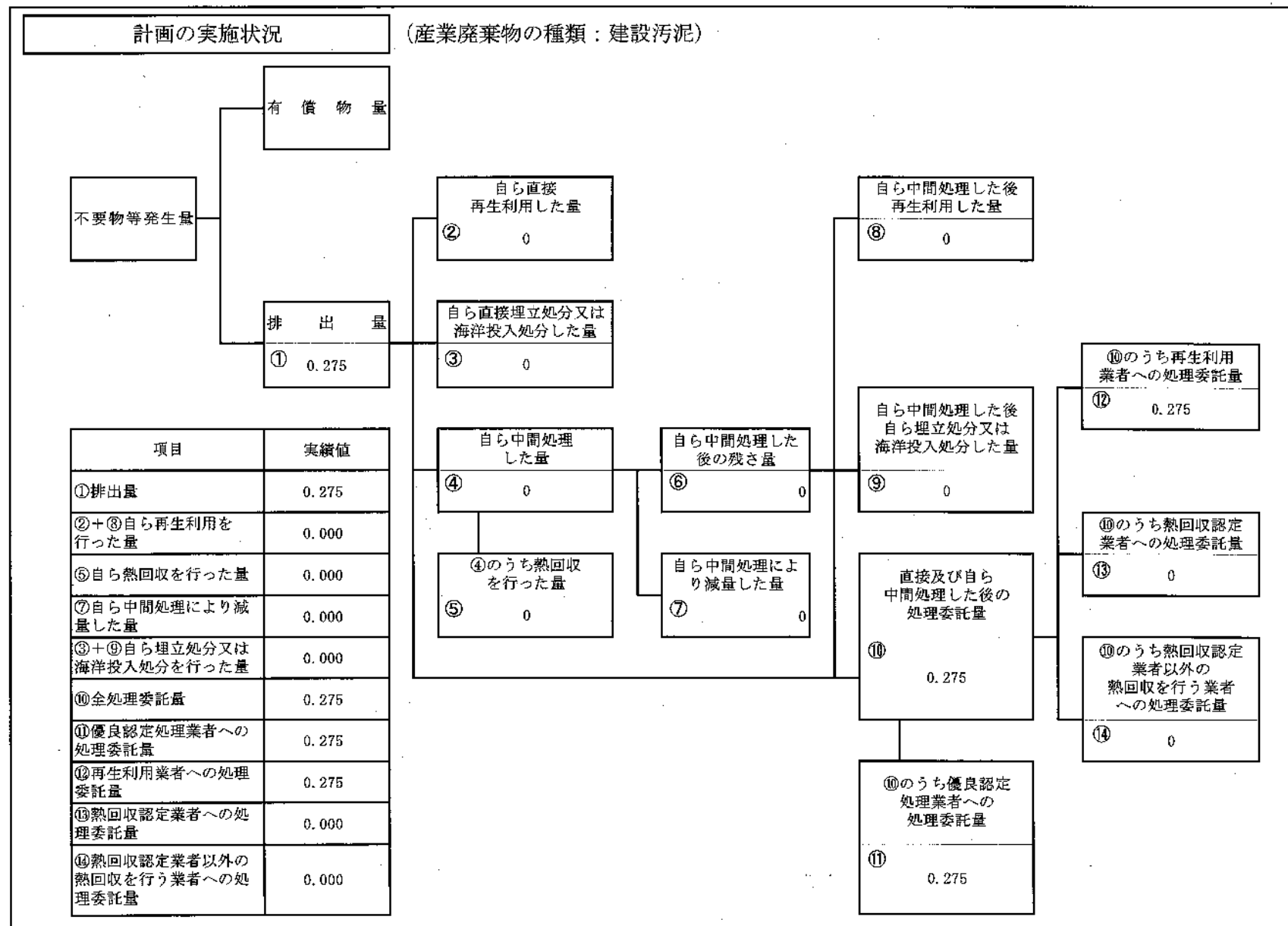


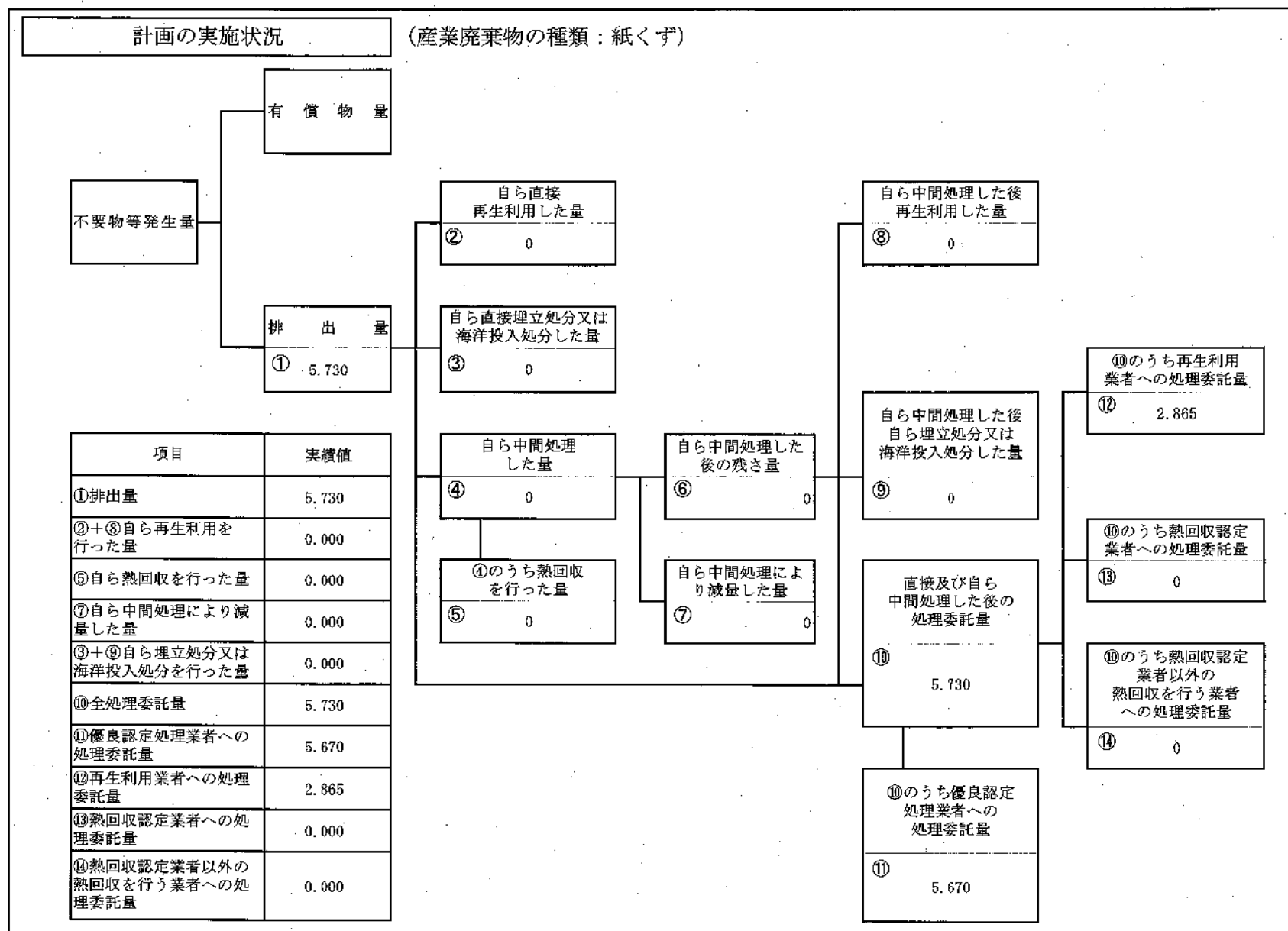
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)









(産業廃棄物の種類：木くず)

不要物等発生量

排出量

① 123.750

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③	0
---	---

自ら中間処理
した量

④	9
---	---

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理により減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

8	0
---	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

10 123,750

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

118.745

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 117.563

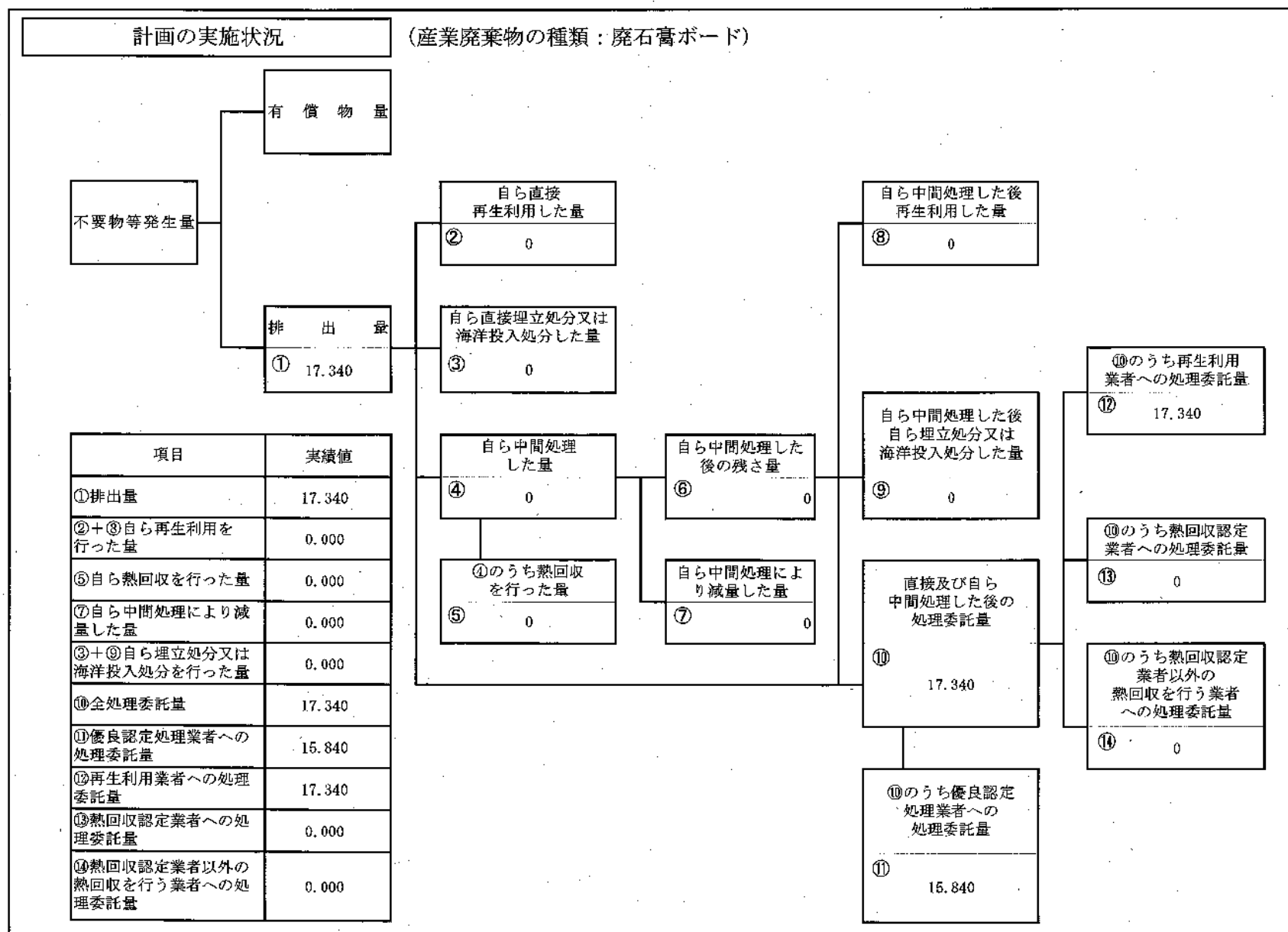
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

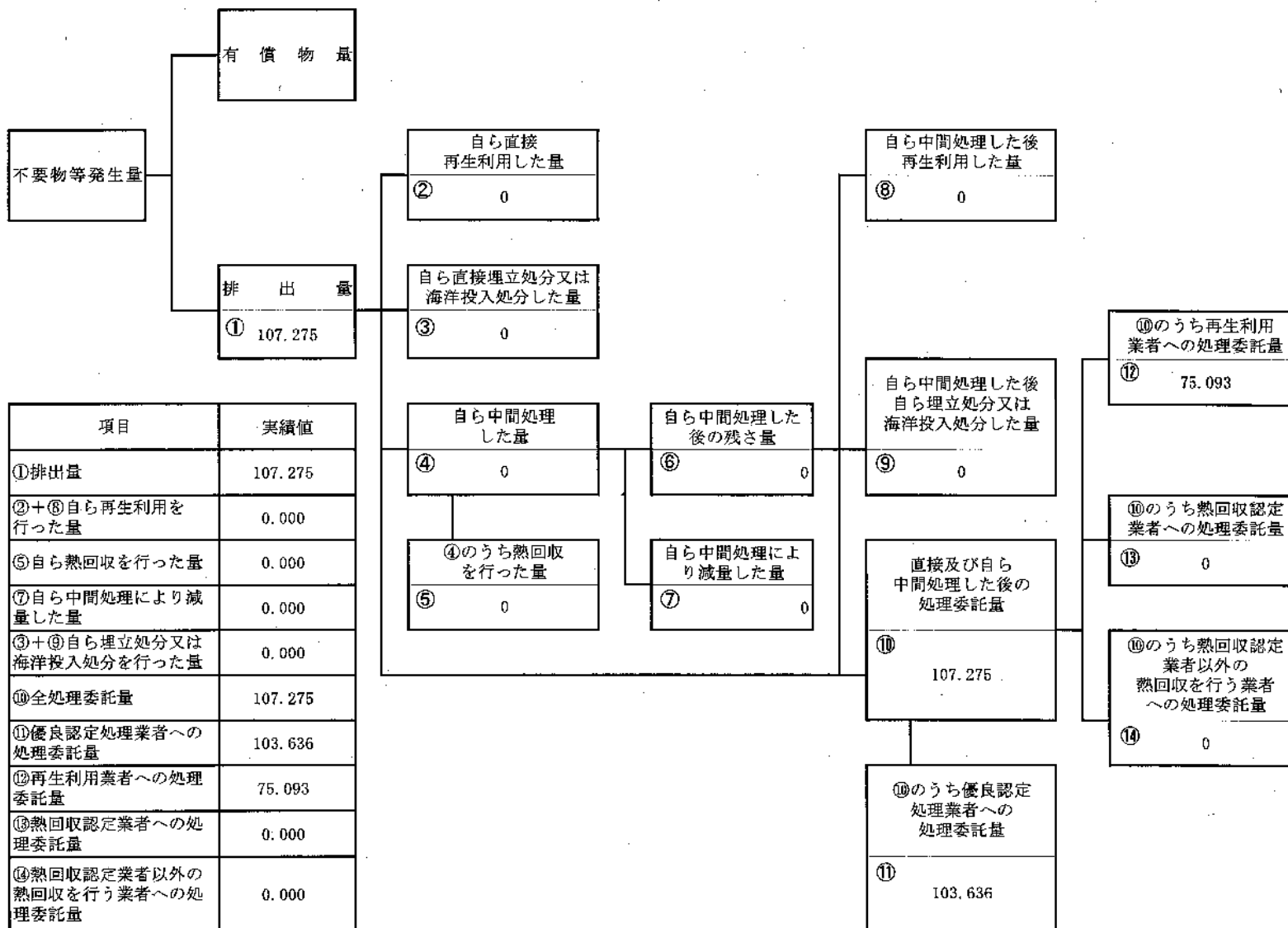
⑭

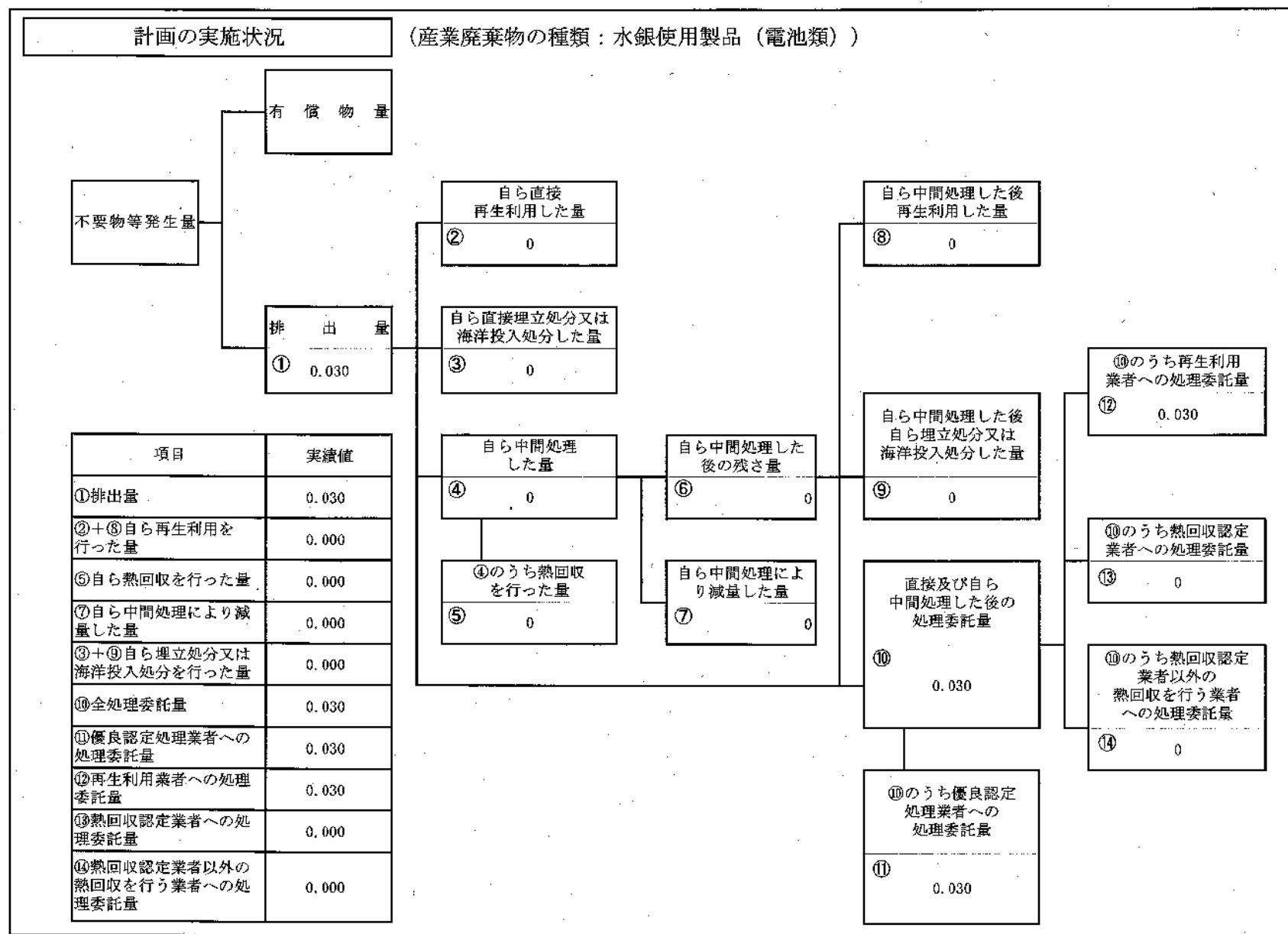
項目	実績値
①排出量	123.750
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0.000
⑤自ら熱回収を行なった量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.000
⑩全処理委託量	123.750
⑪優良認定処理業者への処理委託量	118.745
⑫再生利用業者への処理委託量	117.563
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000



計画の実施状況

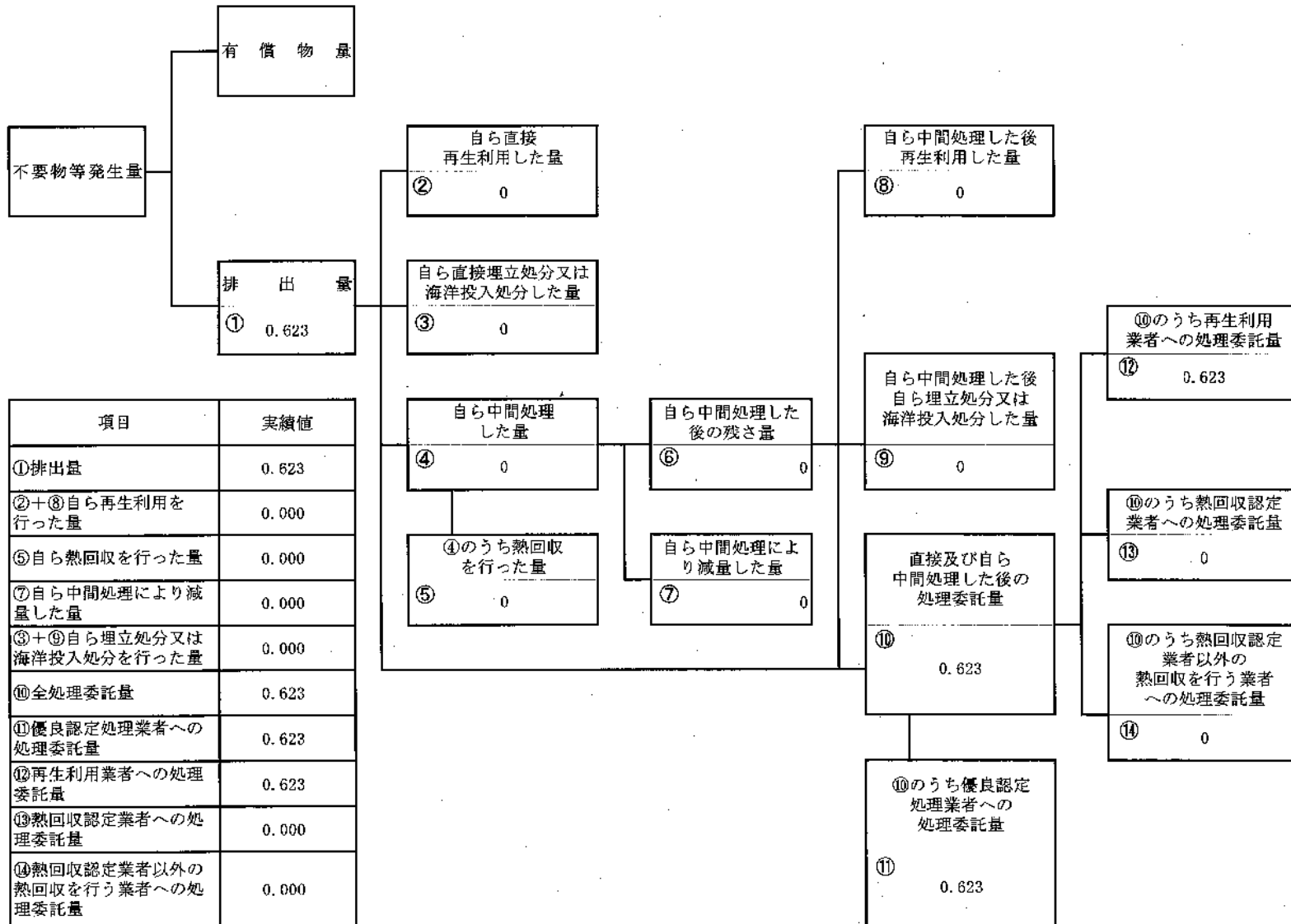
(産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物)





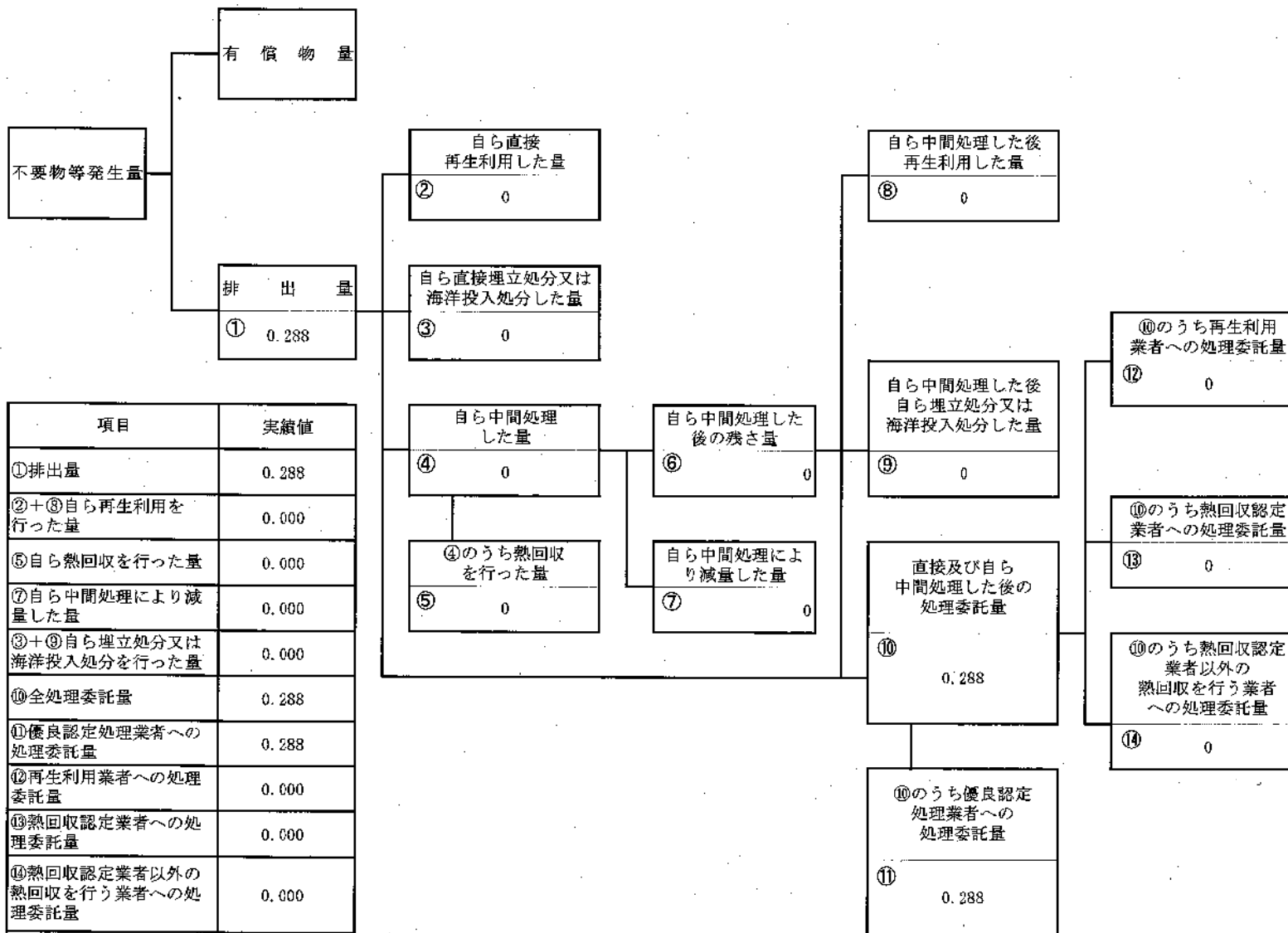
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品 (HIDランプ・蛍光灯))



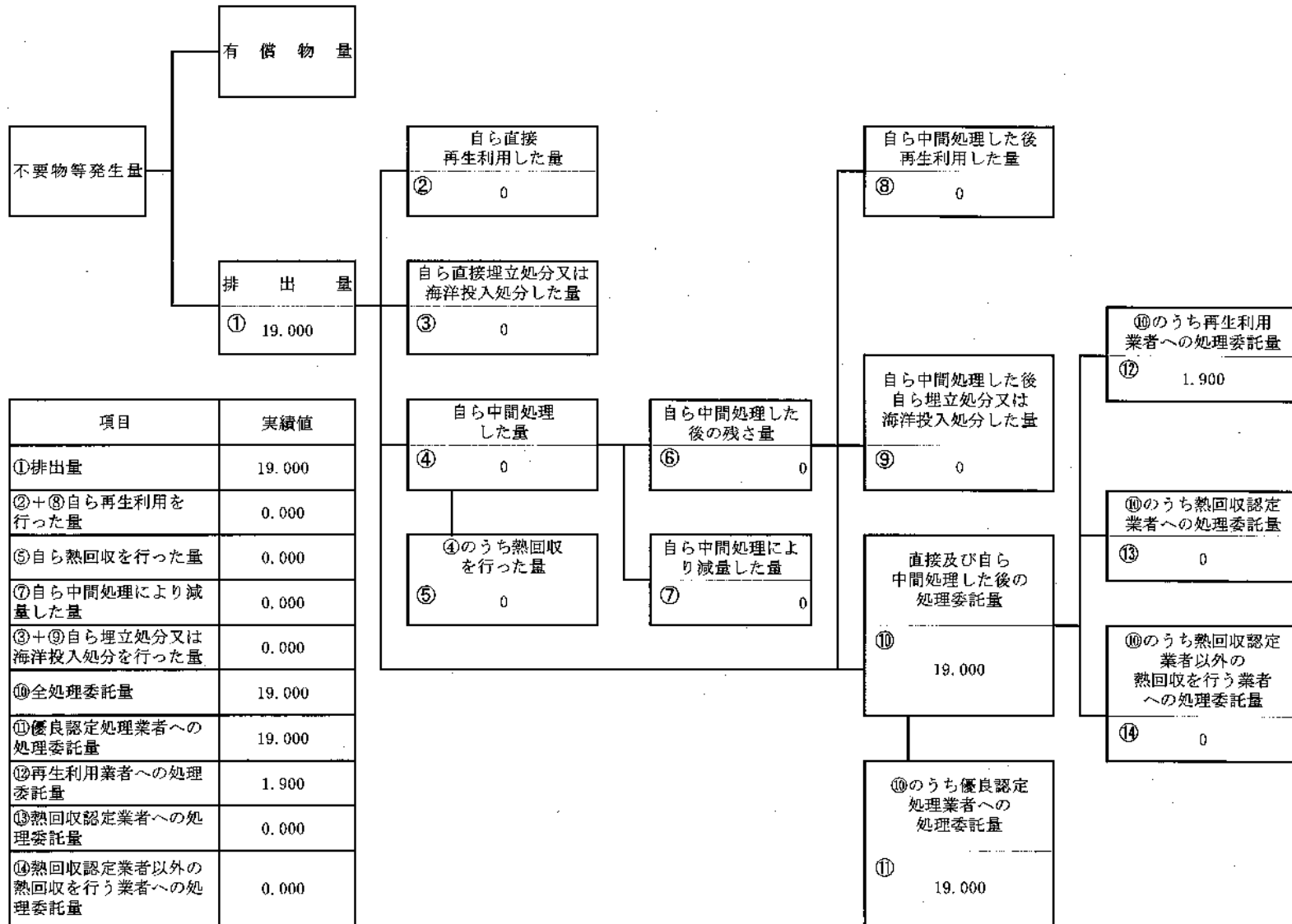
計画の実施状況

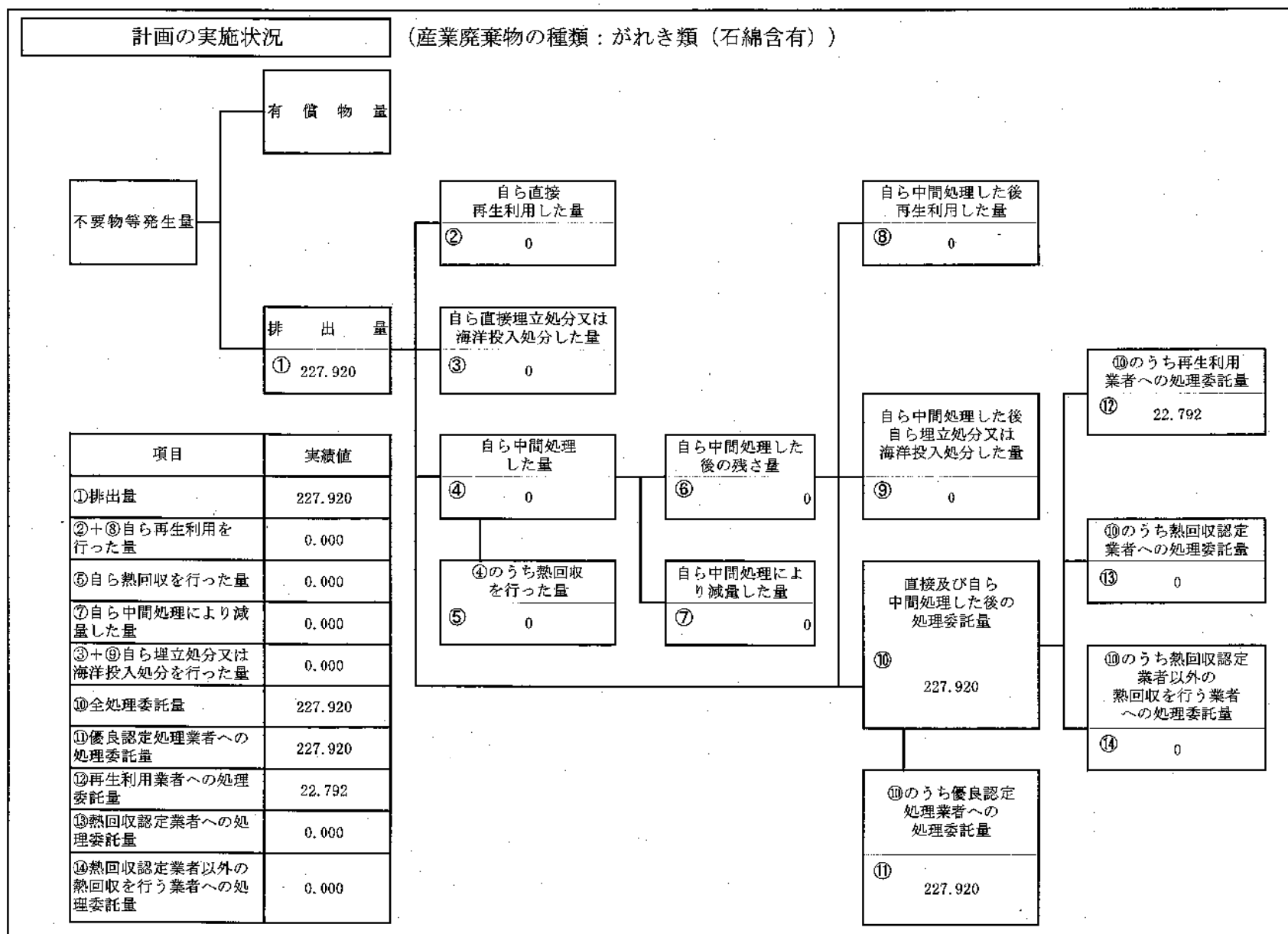
(産業廃棄物の種類：水銀使用製品 (HIDランプ・蛍光灯))

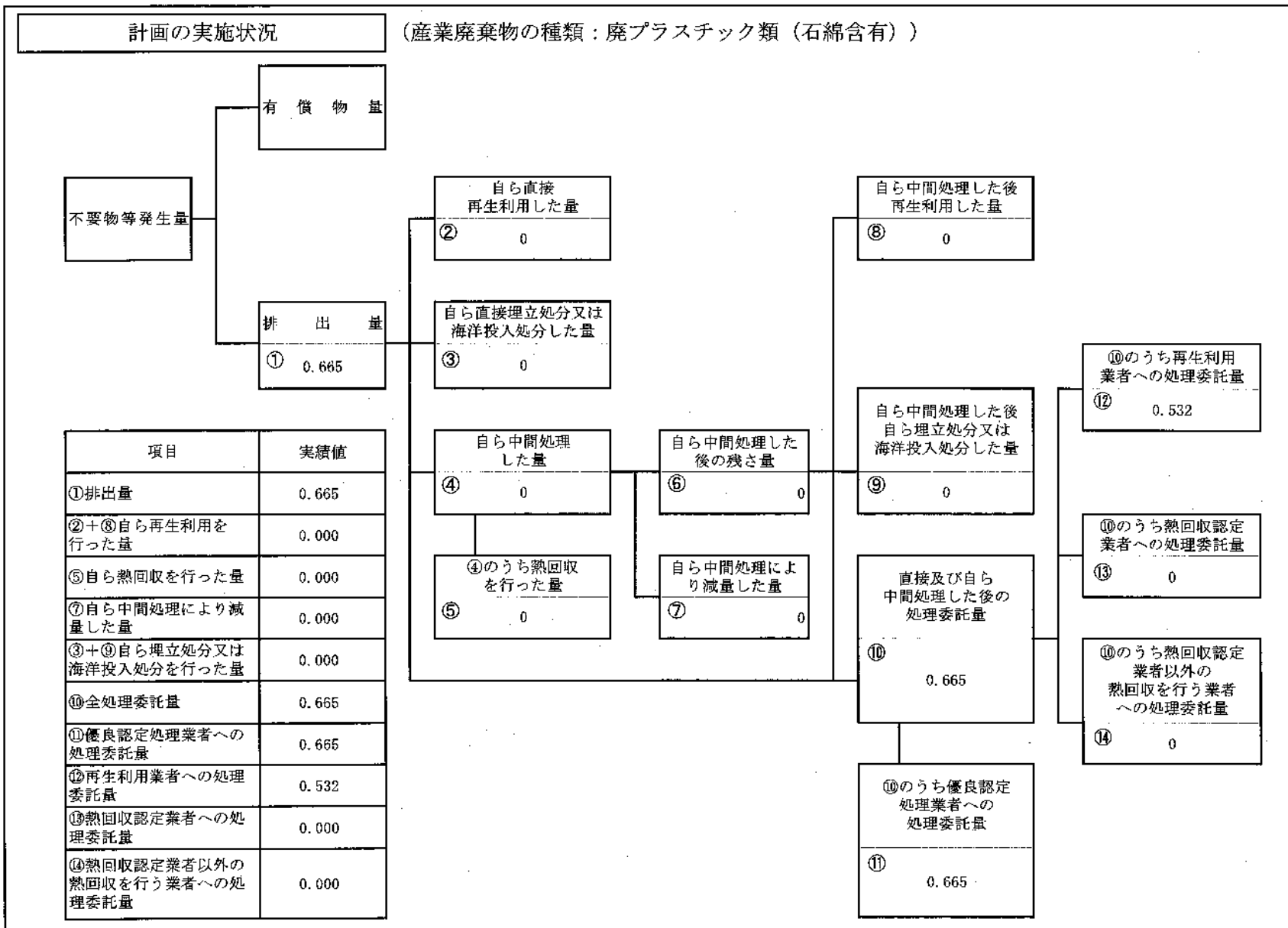


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有))







(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	268	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	289,674	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-47-5503	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		コンから	アスから	がれき類	ガラスくず・コン クリートくず及び 陶磁器くず	廃プラスチック類
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 5 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	2,242.020	799.980	457.468	13.800	49.000
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	2,242.020	799.980	457.468	13.800	49.000
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑤）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	2,242.020	799.980	457.468	13.800	49.000
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	2,242.020	799.980	457.468	13.800	49.000
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	2,242.020	799.980	457.468	13.800	49.000
	処理方法	C	C	C・E（選別）	C・E（選別）	A・C
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	0	0	0	4.900
	h 委託中間処理した後の再生利用した量（t/年）	2,242.020	799.980	45.747	1.380	39.200
	再生利用用途	A・D	A・D	A・D	A	A
	i 委託中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	411.721	12.420	4.900
	埋立処分先	—	—	A 県内	A 県内	A 県内
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	2,242.020	799.980	45.747	1.380	39.200
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0	0	0	0	4.900
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0	0	411.721	12.420	4.900

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）
 3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	268	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	289,674	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-47-5503	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		金属くず	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず
前年度計画の実施状況（5年度実績）	a 不要物等発生量（t/年）	22.075	10.816	7.540	0.275	5.730
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	22.075	10.816	7.540	0.275	5.730
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	22.075	10.816	7.540	0.275	5.730
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	22.075	10.816	7.540	0.275	5.730
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	22.075	10.816	7.540	0.275	5.730
	処理方法	C・E（選別）	A・E（選別）	C・E（選別）	B	A
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	1.298	1.131	0	2.865
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	22.075	8.112	5.278	0.275	2.865
	再生利用用途	A	A	A	D	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	1.406	1.131	0	0
	埋立処分先	—	A 県内	A 県内	—	A 県内
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	22.075	8.112	5.278	0.275	2.865
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0	1.298	1.131	0	2.865
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0	1.406	1.131	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・熔融 B：脱水・乾燥 C：破砕・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	268	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	289,674	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-47-5503	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		木くず	廃石膏ボード	管理型混合廃棄物	水銀使用製品（電池類）	水銀使用製品（蛍光灯等）
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 5 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	123.750	17.340	107.275	0.030	0.623
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	123.750	17.340	107.275	0.030	0.623
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑨ 自ら中間処理した後の再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑩ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	123.750	17.340	107.275	0.030	0.623
	⑪ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑪=c+d）	123.750	17.340	107.275	0.030	0.623
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	123.750	17.340	107.275	0.030	0.623
	処理方法	C・E（選別）	C・E（選別）	C・E（選別）	C・E（選別）	C・E（選別）
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	6.188	0	15.019	0	0
	h 委託中間処理した後の再生利用した量（t/年）	117.563	17.340	75.093	0.030	0.623
	再生利用用途	A	A	A	A	A
	i 委託中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	17.164	0	0.000
	埋立処分先	A 県内	A 県内	A 県内	A 県内	A 県内
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑨+h）	117.563	17.340	75.093	0.030	0.623
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	6.188	0	15.019	0	0
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑩+e+i）	0	0	17.164	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・熔融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	268	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	289,674	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-47-5503	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)				
	廃アルカリ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有）	がれき類（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	
前年度計画の実施状況 (5年度実績)	a 不要物等発生量（t/年）	0.288	19.000	227.920	0.665
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	0.288	19.000	227.920	0.665
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	0.288	19.000	227.920	0.665
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	0.288	19.000	227.920	0.665
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	0.288	19.000	227.920	0.665
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	C・E（選別）	C・E（選別）	A・C E（ ）
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	0	0.000	0.067
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	1.900	22.792	0.532
	再生利用用途	A・D	A	A・D	A E（ ）
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.288	17.100	205.128	0.067
	埋立処分先	A 県内	A 県内	A 県内	A 県内・B 県外
j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	0	1.900	22.792	0.532	
k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0	0.000	0.000	0.067	
l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0.288	17.100	205.128	0.067	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・熔融 B：脱水・乾燥 C：破砕・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。